



安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

作成日: 2022/05/12 改訂日: 2023/05/15 バージョン: 1.1

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : WD-40 Aerosol

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 潤滑剤、浸透剤、湿気を追い出し、表面を腐食から取り除き、保護します
使用上の制限 : 利用可能なデータはない

会社情報

製造業者

WD-40 Company
92131
9715 Businesspark Avenue San Diego, California, USA
T +1-800-448-9340 - F +1-858-251-5600

緊急連絡電話番号

緊急連絡電話番号 : 1-888-324-7596

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理的危険性	エアゾール	区分 1
健康有害性	誤えん有害性	区分 1

ラベル要素

絵表示 (GHS JP)



注意喚起語 (GHS JP) : 危険
危険有害性 (GHS JP) : 極めて可燃性の高いエアゾール (H222)
高压容器 : 熱すると破裂のおそれ (H229)
飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ (H304)

注意書き (GHS JP)

安全対策 : 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。(P210)
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。(P211)
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。(P251)

応急措置

: 飲み込んだ場合 : 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310)
無理に吐かせないこと。(P331)

保管

: 施錠して保管すること。(P405)
日光から遮断し、40 °C以上の温度にばく露しないこと。(P410+P412)

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。
(P501)

他の危険有害性

GHS で扱われない他の危険有害性 : 利用可能なデータはない。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

名前	濃度 (%)	化学式	官報公示整理番号		CAS 番号
			化審法番号	安衛法番号	
脱アロマケロシン	50 - 70	Unspecified	-	-	64742-47-8
非危険成分	30 - 50	-	-	-	混合物
二酸化炭素	2 - 3	CO ₂	(1)-169	(1)-169	124-38-9

4. 応急措置

応急措置

吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
必要に応じて酸素吸入、人工呼吸を施す。
呼吸器系疾患を発症した場合:毒物センターまたは医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合 : 皮膚は多量の水で洗浄する。
汚染された衣類を脱ぐこと。
皮膚刺激が生じた場合 : 医師の診断／手当てを受けること。

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合 : 医師の診断／手当てを受けること。

飲み込んだ場合 : 口内を水ですすぐ。
無理に吐かせてはいけない。
直ちに医師の診察を受ける。

応急措置をする者の保護 : 適切な保護具を着用して作業する。
不必要なばく露を避ける。
個人用保護具を着用する。

急性症状及び遅発性症状の最も重要な兆候及び症状

症状/損傷 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

医師に対する特別な注意事項

その他の医学的アドバイスまたは治療 : 対症的に治療すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、乾燥粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素
使ってはならない消火剤 : 火災拡散の恐れがあるため、ウォータージェットは使用しない。

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

火災危険性	: 極めて可燃性の高いエアゾール。
爆発の危険	: 高压容器：熱すると破裂のおそれ。
火災時の危険有害性分解生成物	: 有毒な煙を放出する可能性がある。
消火方法	: 風上から近づく。 不必要なばく露を避ける。 呼吸保護具。 それは個人的な危険でなければ、火災現場から容器を移動します。 熱にさらされた容器を水噴霧で冷却する。 汚れた消火剤が排水溝や河川に流入しないようにする。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 特に密閉エリアでは、十分な換気を確保する。 安全なエリアに人員を避難させる。 安全な距離と保護された場所から消火活動を行う。 個人用保護具を着用する。
消火時の保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 自給式呼吸器。 完全防護服。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

非緊急対応者

応急処置	: 漏出エリアを換気する。 許可を受けていない人物の本区域への出入りを禁ずる。 必要な場合、管轄権を有する地方自治体に通報する。 埃、霧、および噴霧の呼吸を避ける。 皮膚、眼、あるいは衣服との接触を避ける。 使用中は飲食禁止かつ禁煙。 漏出した製品に接触することもその上を歩くこともしないでください。 安全に対処できるならば着火源を除去すること。 特に密閉エリアでは、十分な換気を確保する。 安全なエリアに人員を避難させる。 指定された個人用保護具を使用すること。 裸火、火花禁止、禁煙。
------	---

緊急対応者

保護具	: 適切な保護具を着用して作業する。 詳細については、第 8 項の「ばく露制御/個人保護」を参照。
-----	--

環境に対する注意事項

環境に対する注意事項	: 環境への放出を避けること。 排水路、下水道、または水路への流出や流出を避けること。
------------	--

封じ込め及び浄化の方法及び機材

封じ込め方法	: 漏出物を回収すること。
--------	---------------

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

- 浄化方法 : 漏れた缶は、圧力がなくなるまでビニール袋や空き缶の中に入れておくこと。液体を不活性吸収剤で封じ込め、回収し、容器に入れ、廃棄する。漏出した場所を完全に清掃する。必要に応じて当局に漏出物を報告する。
- その他の情報 : 物質または固形残留物は公認施設で廃棄する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

- 技術的対策 : 作業所の十分な換気を確保する。
- 安全取扱注意事項 : 作業所の十分な換気を確保する。
個人用保護具を着用する。
眼との接触を避けること。
環境への放出を避けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
洗浄、または適切なりサイクルなしで、空の包装を再利用しない。
ばく露のリスクのあるすべての場所の近くに、救急用の目をすすぐ器具と安全用のシャワーが設置されなければなりません。
産業衛生および安全手順に従って処理する。
食べ物や飲み物との接触を避ける。
熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。—禁煙。
裸火又は他の着火源に噴霧しないこと。
使用後を含め、穴を開けたり燃やしたりしないこと。

- 接触回避 : 強力な酸化剤。強塩基。
- 衛生対策 : この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
製品取扱い後には必ず手を洗う。

保管

- 安全な保管条件 : 施錠して保管すること。
容器を密閉しておくこと。
高温、直射日光を避ける。
日光から遮断すること。
40°C以上の温度にばく露しないこと。
換気の良い場所で保管すること。
涼しいところに置くこと。
- 安全な容器包装材料 : 調合物は、常に、元と同一の物質の包装の中に保存する。
- 技術的対策 : 特に密閉エリアでは、十分な換気を確保する。
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
一度開封した容器は適切に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する必要がある。
- 混触禁止物質 : 強力な酸化剤。強塩基。

8. ばく露防止及び保護措置

二酸化炭素 (124-38-9)	
アメリカ合衆国 - ACGIH - ばく露限界値	
ACGIH OEL TWA [ppm]	5000 ppm
ACGIH OEL STEL [ppm]	30000 ppm

- 設備対策 : 作業所の十分な換気を確保する。

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

保護具

呼吸用保護具	: 換気が不十分である場合、適切な呼吸器を着用する。
手の保護具	: 耐化学薬品手袋
眼の保護具	: フェイスシールド付き安全眼鏡
皮膚及び身体の保護具	: 適切な保護衣を着用する。
環境へのばく露の制限と監視	: 環境への放出を避けること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	: 液体
外観	: エアゾール缶の無色透明の液体
色	: 無色
臭い	: においが弱い
pH	: データなし
融点	: データなし
凝固点	: データなし
沸点	: > 230 ° C
引火点	: > 100 ° C
自然発火点	: データなし
分解温度	: データなし
可燃性	: 極めて可燃性の高いエアゾール
蒸気圧	: データなし
相対密度	: データなし
密度	: データなし
相対ガス密度	: データなし
溶解度	: 水に溶けない。
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	: データなし
爆発特性	: 高压容器: 熱すると破裂のおそれ。
爆発限界 (vol %)	: データなし
動粘性率	: データなし
VOC 含有量	: データなし
粒子特性	: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	: 極めて可燃性の高いエアゾール。 高压容器: 熱すると破裂のおそれ。
化学的安定性	: 通常の条件下では安定。
危険有害反応可能性	: 通常の使用条件下において、危険な反応は全く知られていない。
避けるべき条件	: 空のときでも、穴を開けたり焼却したりしないこと。高温面との接触を避ける。 熱。炎や火花の禁止発火源をすべて断つ。
混触危険物質	: 強力な酸化剤。強塩基。
危険有害な分解生成物	: 熱分解により、炭素酸化物、煙霧、未燃炭化水素が放出されます。

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

11. 有害性情報

急性毒性 (経口) : データなし
急性毒性 (経皮) : データなし
急性毒性 (吸入) : データなし

脱アロマケロシン (64742-47-8)	
LD50 経口 ラット	> 5000 mg/kg
LD50 経皮 ウサギ	> 2000 mg/kg
LC50 吸入 - ラット	> 5.2 mg/l/4h

皮膚腐食性/刺激性 : データなし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : データなし
呼吸器感作性 : データなし
皮膚感作性 : データなし
生殖細胞変異原性 : データなし
発がん性 : データなし
生殖毒性 : データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露) : データなし
特定標的臓器毒性(反復ばく露) : データなし
誤えん有害性 : 飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ

12. 環境影響情報

生態毒性

生態系 - 全般 : 本物質は水性生物に対して有害とは考慮されず、また、環境に対しても長期的な有害な影響を及ぼさない。
水生環境有害性 短期 (急性) : データなし
水生環境有害性 長期 (慢性) : データなし

脱アロマケロシン (64742-47-8)	
LC50 - 魚 [1]	45 mg/l (暴露時間: 96 h - 生物種: Pimephales promelas [flow-through])
LC50 - 魚 [2]	2.2 mg/l (暴露時間: 96 h - 生物種: Lepomis macrochirus [static])
BCF - 魚 [1]	61 - 159
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.3 - 6 Source: IUCLID

二酸化炭素 (124-38-9)	
BCF - 魚 [1]	(生体内蓄積なし)

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

脱アロマケロシン (64742-47-8)	
BCF - 魚 [1]	61 - 159
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.3 - 6 Source: IUCLID

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

二酸化炭素 (124-38-9)	
BCF - 魚 [1]	(生体内蓄積なし)

土壤中の移動性

脱アロマケロシン (64742-47-8)	
n-オクタノール/水分配係数 (Log Pow)	3.3 - 6 Source: IUCLID

オゾン層への有害性

オゾン層への有害性 : データなし

13. 廃棄上の注意

- 廃棄方法 : 地方、地域、国内の法令や国際的法令に順守した危険廃棄物又は特別廃棄物の収集場所。
許可を得た収集業者の分別回収に準拠して内容物/容器を廃棄する。
- 汚染容器及び包装 : 免許を取得したコレクターの並べ替え指示および地域および地域の法律に従ってコンテンツ/容器を廃棄すること。
空容器は地域の条例に準拠してリサイクル、再利用または廃棄する必要がある。

14. 輸送上の注意

国際規制

国連勧告 (UN RTDG)	海上輸送 (IMDG)	航空輸送 (IATA)
国連番号		
1950	1950	1950
国連正式品名		
エアゾール	AEROSOLS	Aerosols, flammable
輸送危険物分類		
2.1	2.1	2.1
		
容器等級		
非該当	非該当	非該当
環境有害性		
環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当	環境有害性 : 非該当

海洋汚染物質 : 非該当

安全データシート

WD-40 Aerosol

JIS Z 7253 : 2019 に準拠

国内規制

その他の情報 : 補足情報なし

15. 適用法令

国内法令

化審法 : CAS# 124-38-9: 二酸化炭素
既存の化学物質

労働安全衛生法 : CAS# 64742-47-8: 脱アロマケロシン
名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物（法第57条、施行令第17条別表第3第1号並びに施行令第18条及び第18条の2別表第9）

毒物及び劇物取締法 : 記載なし

消防法 : 第四類 引火性液体 第三石油類 非水溶性液体 指定数量 2000L 危険等級 III

化学物質排出把握管理促進法(PRTR 法) : 記載なし

16. その他の情報

連絡先 : 利用可能なデータはない。

参考文献 : LOLI。
NITE GHS 分類公表データ。

SDS 改訂理由 : 利用可能なデータはない。

特定の訓練の必要性 : 本製品の通常の使用は、パッケージ上の指示に従うようにしてください。

その他の情報 : 利用可能なデータはない。

改訂情報

区分に該当しない(分類対象外)。

免責条項 当該シートに記載されている情報は信頼できる情報をもとにしてはいるが、情報の正確性について明示・暗示を問わずいかなる保証をするものではない。製品の取扱い、使用、保管または廃棄条件は当社の管理外であり、我々の認知するところではないことがある為、製品の取扱い、使用、保管または廃棄によって生じる損失、損害または費用に対する責任は、直接・間接を問わず一切負わない。当該シートは本製品にのみ使用するべきである。本製品がその他の製品の成分として使用される場合は、当該シートに記載されている情報が適用されないことがある。